

CONTENTS

〈特別インタビュー〉岡本直之氏が会長就任……………	1
尾山会長の退任ごあいさつ……………	1
第12回有恒会支部代表者会議……………	2

平成30年有恒会評議員会・定期総会……………	2
平成30年度商経講座……………	3
卒業式・入学式……………	4

特別インタビュー

岡本直之氏が会長就任



——尾山会長の後を引き継いで有恒会の会長に就任いただき、ありがとうございます。

市大を取り巻く環境は変化していますが、有恒会の課題として考えられていることは何でしょうか。

会費支払者が減少し、将来的にみると少し心配な状況です。大学の情報や会員相互の交流もSNSの発達などにより、いろいろと変わってきています。有恒会に参加することによって、何らかのプラスになること、メリットを感じられないといけないうのかもしれない。

——その中、有恒会としてどのような同窓会を目指していきたいと考えておられるでしょうか。

全国各地の支部も海外支部も入れると40を数えるところとなりました。現役世代や若年層の同窓会離れが進んでいるといわれていますが、今後できるだけ多くの同窓生が身近に感じ、参加できるように支部を増やし、平成世代および女性の同窓生が参加しやすい同窓会を目指していきたいと考えています。そして、学生の就職支援活動や同窓会相互の交流会を通じて、市大卒ということに誇りを持ち続けることができるような働きかけを行っていく必要があるのではないかと思います。

また、全学同窓会が発足して5年ほど経ちましたが、有恒会としてはその中核となって大学サポーター交流室や教育後援会と連携を深め、三位一体となって大学並びに在学生の支援に取り組んでいきたいと思っています。

——最後に有恒会の会員の皆さんにメッセージをください。

2020年には、有恒会創立130周年を迎えることになります。さらなる飛躍を目指し、私たちに何ができるのか、何をしていかなければならないかをしっかり考え、着実な発展に向け前進していこうではありませんか。

〈岡本直之氏の略歴〉

昭和45年	大阪市立大学商学部 卒業
	近畿日本鉄道株式会社 入社
平成19年	同社 代表取締役副社長
平成22年	三重交通グループホールディングス株式会社 代表取締役社長
平成28年	同社 代表取締役会長（現職） 三重県商工会議所連合会 会長（現職）

尾山会長の退任ごあいさつ



2014年6月より就任させていだいておりました有恒会会長を2018年6月9日の有恒会定期総会にて退任する事になりました。

これまで大学とOB間で全学同窓会設立の動きがあり、教育後援会も設立され、同時に寄付口座の

受け皿となる夢基金も改編されました。

各学部ばらばらになっていた同窓会を生かしながら全学同窓会に集合する形が出来ました。これまでの有恒会諸先輩たちが築いてきた組織、運営人材を元に全学同窓会の運営が始まりました。児玉前学長、現会長の中立的運営で、やっと一つの同窓会の活動になってきたと思います。

同時に商友会からの提案の“五代友厚”記念行事と像の設立を有恒会創立130周年記念とリンクしようという機運が上がり、寄付を募る、銅像を作る、学内に適切な公園を作るなどの動きになり、それぞれの学部が動いて来ました。実質的な全学横断の同窓会活動ではなかったかと思っています。

今後は、全学同窓会を受け皿として、営々と運営されてきた各学部、各ゼミの活性化が、再度望まれると思います。

府大との統合案件、大学への政府からの給付金の減少、少子高齢化への対応など大学運営も難しくなっていると思いますし、統合された全学同窓会と各学部の同窓会の動きも重要になってきていると思います。

岡本新会長には、これまでの重層的経験を存分に発揮していただく事を期待いたします。

これまでのご支援ありがとうございました。

第12回有恒会支部代表者会議開催

平成30年3月10日（土）13時半より田中記念館2階会議室において、「平成29年度有恒会支部代表者会議」を開催した。

事前に各支部より回答いただいた「平成29年度活動実績・平成30年度活動計画」の資料より、顕著な活動を行われた支部より報告をいただいた。会員を増やすためには、幅広い年齢層の会員、特に若手と女性を取り込む必要がある。そのために、年に1回総会を開くだけでなく、分科会を作って少人数で安くて頻繁に会う機会を増やすのがいいのではないか、という提案がされた。

運営本部よりは会費納入率の低下の問題と新卒生歓迎会を各支部の総会に合わせて行うという報告があった。



荒川学長より、府大との統合の状況の説明と大学の広告塔としての学長の活動を伺った。最後に全学同窓会から全学同窓会報誌、五代プロジェクトの説明、京極副理事長より大学の近況報告と寄附金のお願いがあった。

全学同窓会報誌、五代プロジェクトの説明、京極副理事長より大学の近況報告と寄附金のお願いがあった。

平成30年有恒会評議員会・定期総会

平成30年度有恒会評議員会・定期総会が6月9日、本学田中記念館で行われた。

初めに昨年度の活動内容について報告があった。有恒会は全国支部の活性化、ホームカミングデーの開催や学生への就職支援など多岐にわたって活動している。昨年度は、田中記念館3階にコピー機を設置したり、同窓会サロンとして誰でもくつろげる空間へと改装したりした。次に、今年度の活動案の報告が行われた。有恒会加入者の世代・学部を越えることと、多くの人々の有恒会への参画が目標として掲げられた。特に、若い世代の加入率の低さが問題視されている。卒業生が本学に誇りを持つことができるような活動を行い、多種多様な人が有恒会に参画することで有恒会のさらなる活性化が期待される。



最後に荒川哲男学長が登壇し、新大学への思いと本学が140周年を迎えるにあたって広報活動に注力することを語った。

定期総会の後は、八木孝昌氏（経昭41）が本学の設立者である五代友厚についての講演会を行った。五代友厚に関するエピソードや事件の真偽を分析する内容であり、聴衆者は興味深そうに耳を傾けていた。

その後、同館1階ホワイエで懇親会が開かれた。BGMとしてジャズ研究会が音楽を奏でていた。出席者はテーブルを囲み、旧友と話を弾ませていた。また、卒業生が学生と交流する姿もよく見られた。会の途中には抽選会もあり、盛り上がりを見せた。最後に桜花爛漫を皆で歌い、閉会した。

学生記者：加藤菜々子 村島健太

各学部関連ニュース

商学部にて公共経営学科を新設



平成30年から従来の商学科に加え、新たに公共経営学科を設置した。

公共経営学科では、「社会性」と「地域性」をキーワードに、非営利組織、公的機関、地域企業、CSR（企業の社会的責任）などについて取り組みます。

この点について、商学部の向山敦夫部長からコメントをいただいた。

商学部はこれまで商学科1学科での教育体制でした。近年、地域や公共分野で活躍する人材の育成が求められている社会的要請に応えるため、2018年4月から新たに「公共経営学科」を設置しました。ここでは、非営利組織、公的機関、地域企業、CSR（企業の社会的責任）等について重点的に学ぶ機会を提供します。新入生は1年生から2年生前期の間は、学科には属せずに経営学、経済学、会計学などの基礎的な科目を学びます。2年生後期からどちらかの学科に所属し、専門的な勉強をおこなうことになります。

公共経営学科はマネジメントやビジネスを扱う点は商学科と同じですが、「社会性」と「地域性」をキーワードとして学習を進める点に特色があります。大阪商科大学の時代には「市政科」という独自の珍しい学科があり、その知的伝統が大阪市立大学発足後にも引き継がれてきました。公共経営学科はこの歴史的資産を時代に即した形でリニューアルさせる試みでもあります。

また、同じく2018年から大学院には「アジア・ビジネス研究プログラム」を設置し、留学生を中心にアジア・ビジネスの歴史と現状を分析し、先進的事例と実践的な課題を研究します。アジアと日本との経済的連携を強めるための人材育成をめざしています。

平成30年度商経講座の開催

商経講座は平成17年に経友会講座としてスタートし、平成26年からは商友会と共同開講となりました。この時から安定的継続的な運営を期するため全学同窓会助成金の交付を受けています。毎年度後期の木曜日5限目に田中記念館で開講し、各界で活躍されておられる卒業生14名が登壇されます。昨年度の受講生は商学部と経済学部を主体に150名でした。終了後の無記名アンケートでは「大学に入って一番おもしろく毎週楽しみな授業だった」や「講師の方々も同じ学舎で学んでいたと思うと負けずに努力して行こうと思った」など、大多数の受講生から肯定的評価を頂きました。また「成功話だけではなく、多様な生き方があることを知りたい」や「若い人、頑張っている女性などの話も聴きたい」などの要望もありました。それらも参考に、今年度後期からの第5回講座では、14回の講義のうち女性4回、30歳代のメンバーによるパネルディスカッション3回など多様性に富んだ講師陣にご登壇頂けることになりました。学部により単位取得の可否はありますが、全学部受講可能として頂ける予定です。卒業生の皆様には今後ともご支援を宜しくお願いします。



講生から肯定的評価を頂きました。また「成功話だけではなく、多様な生き方があることを知りたい」や「若い人、頑張っている女性などの話も聴きたい」などの要望もありました。それらも参考に、今年度後期からの第5回講座では、14回の講義のうち女性4回、30歳代のメンバーによるパネルディスカッション3回など多様性に富んだ講師陣にご登壇頂けることになりました。学部により単位取得の可否はありますが、全学部受講可能として頂ける予定です。卒業生の皆様には今後ともご支援を宜しくお願いします。

平成30年度の商経講座の講師の方は次の通りです。
商経講座運営委員 経友会常任幹事 橋本純（経昭50卒）

池永 寛明（経昭57）

大阪ガス(株) 理事 エネルギー・文化研究所 所長

井上ゆみ子（理・物理平4）

奈良県 生活・産業技術研究部 指導研究員

小谷 美樹（生科・住昭63）

積水ハウス(株) 経営企画部 CSR部長

徐 龍達（商昭32）桃山学院大学名誉教授

戸田 博子（経平1）読売新聞大阪本社 広報宣伝部長

西 啓介（商昭58）

ニッセイアセットマネジメント(株) 代表取締役社長

堀野 亘求（院(博)前平15）

NPO法人 大阪NPOセンター事務局長

林 正俊（商昭53）

（一社）日本ケーブルテレビ連盟 専務理事

政岡 久泰（法昭48）

（株）エクセディ（元）取締役専務執行役員

湯崎 一子（法平2）

BNPパリバ証券(株) アセットマネージャー営業部長

中瀬 哲史（院(博)後平7）

大阪市立大学大学院経営学研究科教授

木下陽介 ほか 30歳代の弁護士、公認会計士、税

理士など土業の方を主体にした若手グループ

（※）パネルディスカッションを3回実施予定、女性
パネラーの参加も検討中（順不同）

商学部・田村晃二ゼミが審査員特別賞

ー第8回西日本インカレー

第8回は昨年11月～12月、大阪経済大学で開催されました。

この大会は日経BPマーケティングが主催し、西日本地区（中部、関西、中四国、九州）の経済・経営・商学を中心に学ぶ大学生が集い、主に日頃取り組んでいる専門ゼミナールでの研究テーマをプレゼンテーション形式で発表する大会です。

第8回には23大学・109チーム、500名超の大学生が参加、予選を通過した10チームが本選で研究発表を行い、本学の商学部の田村晃二ゼミが「ドーナツバオバオ」で審査員特別賞を受賞しました。

《田村晃二先生のコメント》

研究発表のテーマは、中身のグッズ選定を含めた防災袋の企画、開発からマーケティングに至る戦略のロジックについてです。防災袋が機能的で実践的であることはもちろんですが、まずは、そもそも多くの人に手にとってもらわねばなりません。購入してもらってこそ防災意識が啓蒙できる、というわけです。研究発表会で「おしゃれ」を切り口にした戦略ロジックが評価されたその防災袋は、幸いなことに、現在、市大生協にて販売中です。

大学人事

平成30年度の大学人事が決まり、有恒会の岡本直之氏（三重交通グループホールディング株式会社・代表取締役会長）が渉外担当の理事に就任した。

役員等及び研究科長・学部長は次の通り。

1. 役員等

理事長（兼学長）	荒川 哲男（任期中）
副理事長	神田 幹夫（新任）
理事（教育・学生担当、兼副学長）	橋本 文彦（新任）
理事（研究・国際交流・情報担当、兼副学長）	櫻木 弘之（再任）
理事（病院経営担当、附属病院長）	平田 和人（新任）
理事（渉外担当、非常勤）	岡本 直之（新任）
理事（財務・会計担当、非常勤）	白井 弘（再任）
監事（非常勤）	岸本 佳浩（任期中）

2. 研究科長・学部長（有恒会関係）

経営学研究科長・商学部長	向山 敦夫（任期中）
経済学研究科長・経済学部長	中村 健吾（ 〃 ）
法学研究科長・法学部長	勝田 卓也（ 〃 ）
文学研究科長・文学部長	仁木 宏（ 〃 ）

卒業式・入学式

平成29年度大阪市立大学 卒業式・学位授与式が3月22日、大阪市立体育館で行われた。

平成29年度の学部別卒業生数は以下のとおりである。

	男	女	合計
商 学 部	160	80	240
経済学部	157	64	221
法 学 部	87	77	164
文 学 部	51	108	159

また平成30年度入学式が4月5日、大阪市中央体育館にて挙行された。

平成29・30年度学部別入学者数・平成30年度出身高校所在地別入学者数は以下のとおりである。入学者の男女比は前年と変わらないが、関東地区出身者が増え、中部・中国地区出身者が減少した。

	平成29年度(2017)			平成30年度(2018)		
	男	女	合計	男	女	合計
商 学 部	133	96	229	142	98	240
経済学部	167	60	227	169	60	229
法 学 部	89	80	169	93	78	171
文 学 部	60	112	172	57	116	173

学部	地 区								
	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	その他
商 学 部	0	0	2	6	205	9	9	0	5
経済学部	1	0	1	9	195	10	3	7	3
法 学 部	0	2	2	6	143	6	8	2	2
文 学 部	0	1	2	12	135	5	9	2	7

平成29年度卒業生及び

修了生の就職状況について

就職支援室 池山室長



今春卒業及び修了した学生の就職環境では経団連指針に沿った就活スケジュールが定着し、就職活動が比較的スムーズに進められました。また、好景気の影響から有効求人倍率が1.78倍となり学生にとって非常に有利な売り

手市場となった結果、本学の就職率も94.3%と昨年同様の高水準となり、文系学生におきましても93.6%の就職率となりました。文系学生の主な就職先ではメガバンクや大手生保が属する金融業界の他、パナソニックやトヨタ自動車をはじめとする大手メーカーなど、多岐に渡る一方で官公庁への就職率も高く、文系学生の17.3%が公務員となりました。

学生有利の売り手市場は今後数年継続されることが見込まれますが、企業によるインターンシップの促進や経団連指針の見直しにより、就活環境が激変していくことが予測されます。今後訪れるこの大きな変化に対応すべく、就職支援室では学生に時宜に応じた支援を実施できるよう取り組んでいますので、皆様方のご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

運営本部

新任役員（6月9日有恒会総会にて選出）

会長	岡本 直之（商昭45）
副会長（常任）	宮川 庄一（経昭45）
副会長	下崎千代子（営院昭54）
副会長	阪井千鶴子（法昭57）
副会長	相良 暁（商昭58）
副会長	滋野 公彦（経昭59）
監事	梅村 晋一（法昭55）

平成30年7月～平成31年1月活動予定

<総務部会>

- 10月 総務部会
- 12月 運営本部感謝のつどい

<会員部会>

- 11/3～11/5 银杏祭（同窓会活動PR）
- 11/10 秋のワンデートリップ
- 12/1 民間企業OBOGとの交流会（在学生支援）
- 【シスターフッドプログラム】（在学生支援）
- 【ビジネス交流会IN大阪（関西若手卒業生支援）】
- 学生4者協連絡協議会との交流会（年2回）

<財務部会>

- 財務部会（5月、10月）
- 会費未納入者納入促進（5月・9月）

<広報部会>

- 広報部会（会報編集会議） ※随時開催
- ホームページ会議（年2回）
- 毎月15日 メールマガジン配信
- 毎月1日・15日 ホームページ更新

◆ 編集後記 ◆

この度有恒会報は全学同窓会報と合冊になったことにより、新たに有恒会員向けに、「有恒会ニューズレター」を発行（オールカラー、A4版4ページ）することになりました。創刊号は4年ぶりの新旧会長交代挨拶を中心に掲載しております。新しい体制のもと、同窓会が皆様の憩いの場となり、会員相互の交流の場となり、大学を含めたインテグレーションの場となるべく貢献して行きたいと思っております。

（編集人）

「投稿のご案内」

皆様方の近況・ご意見を「読者の声」欄に掲載しますので奮ってご投稿下さい。

投稿先：kaiho-b@ado.osaka-cu.ac.jp（200字程度）

有恒会ニューズレター No.1 2018年(平成30年)7月発行

発行：大阪市立大学有恒会

住所：〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学内

編集人：小林俊介（法昭44卒）

事務局：上村修三 TEL(06)6605-2113